

開催日: 令和元年12月6日

場所: ダバオ市内 パーク・イン・ホテル

主催: 国家経済開発庁(NEDA)

参加企業: フィリピン進出日本企業5社

在ダバオ総領事館

【概要】

●RDCはフィリピン国内に設置されている管区(国の施策を調整するため州や市等の地方自治体を跨ぎ設置されている行政区域。ミンダナオには6管区が設置)における経済・社会政策を決定する最高機関。ダバオ市が所在する第11管区でRDC会合に総領事館員が招待されたことを契機に、日本企業の高い技術力と同管区でのインフラ案件への貢献の可能性をRDCで紹介する機会を調整、第11管区RDC第4・四半期定例会合でのプレゼンテーションが実現した。

●フィリピンで各種のプロジェクトを手がけている上記の5社のプロジェクトに関する概要、各社が持つ技術などを約30分間に亘り紹介し、質疑応答が行われた。

●日本の建設土木技術はインフラ整備に不可欠であり、通信インフラ分野での技術はミンダナオにおける製造業の発展、BPOサービス業の強化、防災や行政サービスの向上にとり重要な役割を果たすことが期待されるとの反応があった。

●NEDAは、現在、ミンダナオの発展の核として期待されているダバオ地域とカガヤン・デ・オロの2地域において、広域開発計画であるメロ・プロジェクト(「メロ・ダバオ」と「メロ・カガヤン・デ・オロ」)の2つの計画が進められており、今後のRDCにおいては、これらの計画との関連で日本企業の参加を期待している。



会合の状況



三輪総領事による日本企業紹介



日本企業紹介後のRDC議長等との記念写真
バックは会場参加者